



ロシア軍によるウクライナ侵攻が始まる以前から武装勢力との戦闘が繰り広げられていたドンバス地方。戦争が日常で日常が戦場の「グレーゾーン」を生きる主人公は、ある日クリミアを目指して旅に出る——。ウクライナのロシア語作家クルコフの傑作小説『灰色のミツバチ』(左右社、2024年)をめぐる、本作翻訳者にして現代ロシア語文学の第一人者・沼野恭子が語ります！

## グレーゾーンを生きるとは

—アンドレイ・クルコフ『灰色のミツバチ』をめぐる—

講演者：沼野 恭子（東京外国語大学名誉教授）

司会・コメンテーター：前田 和泉

2025年2月15日(土)14:00-16:00

東京外国語大学 研究講義棟 422

入場無料・一般公開

主催：東京外国語大学総合文化研究所

お問い合わせ：前田 和泉(maeda@tufs.ac.jp)

